

◎ 梅林と越辺川に沿って

武蔵越生七福神

武蔵越生七福神は、越生梅林と越辺川沿いの山里をたどるので、ハイキング気分で歩くことができる。今回は駅からスタートしたが、バスで黒山まで行き、逆コースを歩けば、帰りのバスの便を心配しなくてもよい。

東武鉄道またはJ.Rの越生駅で下車し、県道30号を渡ると、恵比寿天の法恩寺がある。正徳4年（1714）再建の山門と鐘楼が歴史を感じさせる。本堂には精巧な彫刻が施されている。越生神社の横を上がり、大黒天の正法寺へ。鎌倉の建長寺の末寺で、代々建長寺の高僧の隠居寺だったという。

権田 英定

役場の横を進んで、県道の歩道橋を渡り、越辺川を越える。成瀬集落から県道30号に出て、県道バイパス合流点の手前を左へ行く。弘法山（164ト）に向かって上がると、桜とツツジとスイセンに覆われた斜面に出る。

弘法山観世音は、弘法大師の作と伝えられ、安産子育ての観音様として親しまれている。弁財天は本堂とは別のお堂に祭られている。

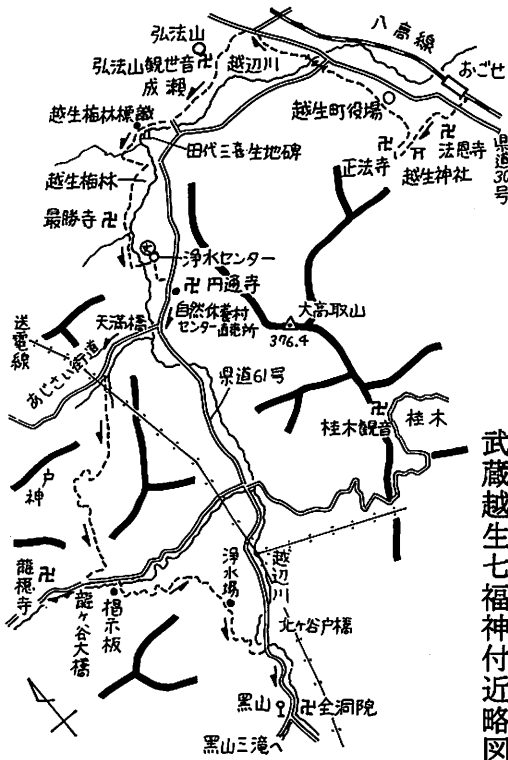
西側の車道に下り、奥武蔵の山や成瀬の集落を眺めながら西に進む。越生は梅の里、古木の梅畑が増えてきた。弘法山から約1キ、「越生梅林」の標識を左へ。そばの家に「田代三喜生地」



弘法山観世音

碑が立つ。三喜は寛正6年（1465）生まれ。明国で医学を学び、古河公方・足利氏の主治医となった。庶民の病苦を救い、「医聖」と仰がれた。越辺川の支流を渡り、梅林の中心地へ。周辺には枝を広げた古木が多い。

その一角に福祿寿の最勝寺がある。寺は建久4年(1193)に源頼朝の命で創建といわれ、山を背にした日当たりの良い境内にも、梅の古木が多い。南に向かい、浄水センターの横を通り、県道61号へ。自然休養村センター直売所の横を進み、寿老人の円通寺()と伝えられる。



武蔵越生七福神付近略図

参拝後、自然休養村センターの直売所に寄る。越生町特産の梅やユズ、一里あめ飴、野菜などを販売していた。天満橋を渡って、越辺川支流沿いの「あじさい街道」へ。送電線下であじさい街道と別れ、左の谷間に入る。小寺の先は杉林の中の登り道となる。ユズの多い戸神を抜け、針葉樹林に入って舗装が終わる。風は冷たいが、

登り坂が続くので汗ばんできた。

峠を過ぎ、木の間越しに家並みを見おろし、龍ヶ谷川沿いに下る。左岸を少し入ると、毘沙門天の龍穩寺。杉木立の境内、精巧な彫刻の仁王門から、石段を上がって本堂に参拝する。

龍穩寺は、永享の頃(1429)に將軍足利義政が創立し、文明4年(1472)に太田道真、道灌父子により再建されたという。本堂左手の斜面上には、その太田父子の墓があった。

龍ヶ谷大橋を渡って右岸を少し、掲示板の先を右手の砂利道に上がり、針葉樹林を東から北へトラバースする。簡易舗装の道を下り、ユズの多い梅久保へ。浄水場横を過ぎ、越辺川沿いに進み、北ヶ谷戸橋をバス道に出た。

最後の寺、布袋尊の全洞院は、上流に200ほど。橋を渡ってお堂に参拝する。寺は無住で境内は狭い。「納経は龍穩寺で」との張り紙があった。

墓地の上部に、渋沢平九郎の墓がある。平九郎は深谷市の出身、慶応4年(1868)の飯能戦争の際、官軍の総

攻撃で破れた振武軍の副将である。

帰路は近くの黒山バス停から。待ち時間があるならバス道を進み、途中の停留所から越生駅に向かうとよい。

(06年1月8日歩く)

●コースタイム

越生駅—3分—報恩寺—10分—正法寺—30分—弘法山—30分—最勝寺—20分—円通寺—50分—龍徳寺—30分—全洞院—2分—黒山バス停—30分—越生駅

●費用

池袋—越生 東武鉄道 700円
黒山—越生駅 バス 340円

「問い合わせ先」

越生町役場 049-292-3121
川越観光自動車 0493-56-2001

「地図」

越生 正丸峠 (2万5千)
東京 (20万)

よもやま情報

下仁田温泉 清流荘の冬季プラン

清流荘の名物は、「猪料理」。猪は山鯨ともいわれ、厳寒の冬には栄養補給食、薬食として重宝されてきた。特に冬場は肉質がしまり、旨みもます。冬季の代表的な料理が、ポタン鍋。花のポタンに猪肉の色が似ていることに由来しており、具の野菜と味噌がミックスした味は鍋の逸品ともいわれる。猪のしゃぶしゃぶも清流荘の自慢料理で、クセも臭みもほとんどない。

このほか、敷地内で飼育した鹿や雉、自家製の有機野菜や自家製の味噌、山菜などを使った、清流荘ならではの料理が用意されている。

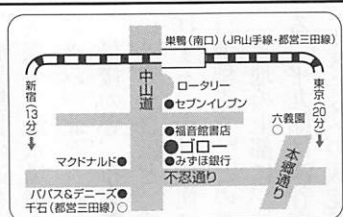
猪が見つけたという下仁田温泉は含二酸化炭素水素塩泉で、毛細血管を広げ血圧を下げる効果があるという。

<http://www.seiryunusou.com>
日本秘湯を守る会会員

〒370-2604

群馬県甘楽郡下仁田町吉崎769

電話 0274-82-3077



goro CLIMBING AND OFF ROAD BOOTS SPECIALTIES 1973
SUGAMO TOKYO

ゴロー
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-2
営業時間/AM11:00~PM8:00
(日・祭日AM11:00~PM6:00)
TEL.03-3945-0855 (火曜定休)



ブーツィエル深型
●受注生産
●ゴアテックスブーツィエル
●21.5cm~28.5cm
●¥32,550
(本体価格¥31,000)

ブーツィエル
●ゴアテックスブーツィエル ●21.5cm~28.5cm
●¥30,450 (本体価格¥29,000)

《職人製法のゴロー「新製品カタログ」No.5》
熟練した職人が手作りで仕上げているゴローの靴、バック、ベルトの商品カタログご希望の方は、切手300円同封の上お申込みください。
ゴローではどこのメーカーの靴でも修理いたします。
詳細については、ホームページもしくは直接お問い合わせください。

<http://www.goro.co.jp/>

創業1973年・手作りブーツ
職人製法のゴロー